

9議員が町政を^{ただ}質す!!

～3月議会定例会を開催～

聖籠町議会では、3月議会定例会を3月4日から18日までの間開催します。

9日と10日は、議員が町の問題を^{ただ}質す一般質問が行われます。

この機会にぜひ議会議場（役場3階）へ傍聴においでください。

[一般質問] 場所－役場3階 議場

時間－午前9時30分から

◆ 1日目 3月9日（月）

長谷川(進)議員、長谷川(六)議員、中村議員

高崎議員、斎藤議員

◆ 2日目 3月10日（火）

青木議員、田中議員、川上議員

栗原議員

◆お問い合わせ◆ 聖籠町議会事務局 TEL27-1967



一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1	[2番] 長谷川 進一	1 高齢者生活支援について	<p>1月末には突如の衆議院解散があり、一部の報道では夜討ちがけ解散とも言われていたが、2月8日には有権者の投票結果が示された。</p> <p>今回の選挙の各党の大きな政策の一つに、一向に改善されない物価高対策が取り上げられていた。一般的に賃金労働者であれば、遅ればせながらも賃上げ等で追いつきはしないものの、若干改善される場合もあるものと思う。</p> <p>しかし、高齢の年金生活者の場合は年金給付額の向上も望めない。むしろ4月1日からは新たに「子ども・子育て支援金」制度により後期高齢者医療保険からも支援金として賦課される。このようなことではあるが、健康や物価高等に喘ぎながらも高齢者がこの町で安心して暮らせるためにも、新年度予算案ではどのような施策をするのか次の2点について町長の所見を伺うものである。</p> <p>(1) 高齢者の生活支援について</p> <p>町では75歳以上の高齢者が約2,000人いる。これらの人々の中には生活行動の手段として、町の助成事業の高齢者タクシー利用券を利用しながら生活している方も多くいる。しかし、昨今の物価高等でタクシーの利用料金も高騰しており、行動範囲も縮小されつつある。この制度は、令和2年度と令和3年度に高齢者福祉生活支援の一環として、以前と比べて大幅に充実されたがその後改善されていない。今日の実情からして、タクシー利用券の配布枚数の増加、また券単価を増額すべきではないか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
1	[2番] 長谷川 進一	1 高齢者生活支援について	<p>(2) 後期高齢者の人間ドック健診の受診率向上・健診料支援について</p> <p>町内では、70歳を過ぎても就業している人が多くいる。75歳以上になると各種健康保険から後期高齢者医療保険に移行することとなる。移行後において人間ドックを受診した場合、自己負担額が以前と比べてかなり高額となり、受診をためらう人も多い。人間ドック健診で早期発見できれば、医師等の適切な指導によりかなり効果的な治療を施され、結果的に本人も安心し、医療費削減にもつながると思う。そのためにも、人間ドック健診料金の自己負担軽減を支援すべきではないか。</p>	町長
		2 町芸術・スポーツ文化振興奨励金について	<p>町では優れた技能を有し、または挑戦・活躍する町民等を対象に、これらの奨励及び応援のため、予算の範囲で奨励金を交付する制度がある。この制度の要綱に基づき、その活動等により奨励金が示され、健闘をたたえて該当者に交付している。</p> <p>そうした中、昨年11月に静岡県で開催された全国中学生都道府県対抗野球大会に新潟県選抜チームが出場し、見事に初優勝した。その選手の一人に聖籠中学校3年生が選抜され、試合に出場し優勝に大きく貢献した。</p> <p>この選手は、日ごろの練習や並々ならぬ努力の結果が認められ選抜されたものだ。また、今後もこのような生徒が多く誕生することを期待しているが、中学・高校生にあってはこの要綱の奨励金額を見直すべきではないか。</p>	教育長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
2	[8 番] 長谷川 六男	7億円から8億円に増額になった建設費(仮称)屋内遊び場整備に関する再質問	<p>昨年の第2回定例会に於いて質問した屋内遊び場整備について再度質問する。聖籠町屋内遊び場施設整備に関する基本方針が示されてから、約1年が経った。その間、町民から様々な意見を頂戴した。そして、2月17日に2026年度予算公表が議会全員協議会の場で行われ、(仮称)屋内遊び場整備の予算額が外構工事を含めて8億1766万円と計画当初より増額になったのには驚いた。町民の声で一番多かった意見は、その高額な建設費である。「7億円もかけて屋内遊び場が何故必要なのか」という声である。そこで、町民から頂いた様々な声の中からいくつか再質問する。</p> <p>(1) 町長が聖籠町屋内遊び場整備に関する調査検討委員会に示した7億円の根拠は。</p> <p>(2) 町民アンケートの中で、財政負担については全体の73%が「将来にわたる財政負担が増すのであれば必要最低限又は既存の施設改修がよい」「将来にわたる財政負担が増すのであれば整備は不要」と答えており、「将来にわたる財政負担が増しても整備するべき」は21%だ。必要最低限の改修で8億円もかかるのか。</p> <p>(3) 県内の自治体において屋内遊び場整備がされているが、比較的安価で整備されている自治体もあると聞く。なぜ当町の遊び場は8億円もかけるのか。</p> <p>(4) 建設費が7億円から外構工事も含め約8億円になった訳だが、資材の高騰や人手不足もあり建設費もまだ増えると予測している人もいる。工事費やスケジューリングは想定通りにいくのか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
2	[8 番] 長谷川 六男	7億円から8億円に増額になった建設費(仮称)屋内遊び場整備に関する再質問	<p>(5) 屋内遊び場は必要だとしても、(当初) 7億円は掛け過ぎだという声が非常に多く聞こえてくるが、町長の耳にも入っているか。また、金額を縮小する考えはあるか。</p> <p>(6) 昨年末、蓮野地域の住民に対して蓮野学区から多目的運動場が無くなることについて役場職員が説明したそうだが、納得していない町民も多いと聞く。なぜ町長自ら出向いて丁寧な説明をしようとししないのか。</p> <p>(7) 町長は多目的運動場を利用している各団体にも説明の場を設けたと言ったが、いまでも建設を知らない利用者があると聞く。どうやって理解をしてもらうのか。</p> <p>(8) 検討委員会からは、施設が整備される地区から遠くに住む子どもや、共働きなどで保護者の送迎が難しい子どもであっても、安全に遊び場へ行くことができる方法について検討が求められたがその結果は。</p> <p>(9) 子どもがもし、怪我をした時などの対応をどう考えているのか。</p> <p>(10) 子どものための屋内遊び場が、結果として子どもに借金を背負わせることになる。本末転倒と思わないか。</p>	町長
3	[1 1 番] 中村 恵美子	1 介護保険について	<p>(1) 介護保険制度の改善に向けて、次の3点について町村会として積極的に国に働きかけるべきではないか。</p> <p>①必要なときに必要な介護が保障される制度となるよう、制度の抜本的な見直しを行なうこと</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
3	[1 1 番] 中村 恵美子	1 介護保険について	<p>②介護保険事業の継続、人材確保が可能となるよう介護報酬の引き上げや処遇改善を行うこと</p> <p>③介護保険財政に対する国庫負担割合の大幅引き上げを行なうこと</p> <p>(2) 第10期介護保険事業計画の作成に取り組む年度になる。住民参画とホームページへの掲載等、情報公開することで策定過程が、見えやすくわかりやすい計画にするべきでないか。</p> <p>(3) 介護サービスの給付推計を住民にしっかり周知するべきでないか。</p> <p>(4) 介護給付費準備基金が余った場合は、次の3年間に繰り入れて介護保険料を抑制することができるため、準備基金をため込むことを常態化せず、保険料を抑制するために使うべきでないか。</p>	町長
		2 町長選挙出馬について	<p>令和7年第3回定例会でも町長選挙出馬については、質問した。その時の答弁は、「今現在、課題対応に傾注しているので、何も考えていない。」ということであった。令和8年8月の改選時期まで、あと5カ月程となった。(仮称)屋内遊び場整備も令和8年度に行われて、令和9年度から利用開始される。</p> <p>年が明けて、町長選挙はどうなるのか、町民からも声が聞かれるようになった。地場物産館は、令和9年度から改修予定のようだが、もう1期は出馬して残した仕事を、するべきと思うが町長の考えを伺う。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
3	[1 1 番] 中村 恵美子	3 給食費無償化について	<p>給食費の無償化について予算公表では、小学校は 5,200 円の不足分は町で助成をして完全無償化とすると聞いた。同じ義務教育の中学校にも、町の予算で給食費の無償化をするべきと考えるがどうか。</p> <p>また、次の3点について国へ要望すべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食費の全額支援 ・早期の中学校の給食費の無償化 ・給食費の無償化の制度の恒久化と財源確保 	町長
4	[5 番] 高崎 美由貴	若者定住促進に向けたデジタル環境整備について	<p>町内の若者は高校、専門学校、大学等と進学の際に町外、県外に出ていくことが多い。そして、県外に進学した学生はそのまま県外に就職し、町に戻らないということも多いという印象だ。本町は現状では人口減少率は低いが、少子高齢化が進んでいくことは避けられない。若者の県外流出を止め、定住促進することは本町にとって重要な課題である。本町は子育て支援の充実により「子育てしやすい町」としてのブランドを確立しており、適度な田舎で自然豊かな環境、新潟空港や新潟駅へのアクセスの良さなど、リモートワーク世代にとって魅力的な要素を持っている。こうした強みを生かし、若者が「住みたい」「帰りたい」と思える環境を整備するため、何点か伺う。</p> <p>(1) 町では現状、中学校卒業後の進路は把握しているが、その先の進路追跡は行っていない。県外流出やUターンの実態把握をするため進路情報を継続的に把握する仕組みを構築できないか。</p> <p>(2) 新発田・胎内・聖籠インターンシップ事業推進協議会の取り組みで、町内企業でのインターンシップを行っているが、参加企業数、参加学生数、就職への効果など、事業の実態と成果はどのようになっているか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
4	[5 番] 高崎 美由貴	若者定住促進に向けたデジタル環境整備について	(3) リモートワーク環境があれば、町内に居ながら離れた場所の人との交流が可能となり、職種によっては、首都圏にいるのと同じような仕事を行うことが可能だ。使われていない町保有の建物などを利用し、コワーキングスペースにしてはどうか。	町長
5	[4 番] 斎藤 豊	1 町制施行 50 周年について	<p>聖籠町は、昭和 52 年 8 月に聖籠村から町制を施行し、新潟県で 54 番目の町として誕生した。来年 8 月には、町制施行から 50 周年という、大きな節目を迎えることになる。50 年という節目は、これまで本町の発展を支えてこられた先人の労苦を振り返るとともに、次の 50 年に向けた町の将来像を、町民と共有する大変重要な機会であると考えている。</p> <p>そこで質問する。</p> <p>(1) 町制施行 50 周年という節目を迎えるにあたり、町としてこの記念の年をどのように位置づけているのか、町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 前回の町制施行 40 周年に係る記念行事や記念事業についての検討は、前年度からワーキンググループを組織し検討された。今回はいつ頃から、どのような組織で行うのか。</p>	町長
		2 電源近接型データセンター等の誘致の可能性について	新潟東港地区には、LNG 火力発電所やバイオマス発電所などの電源が集積している。港湾・産業用地としての特性も有している。こうした地域特性を踏まえ、電源近接型データセンター等の誘致について、可能性を検討する余地があると考えているが、町長の見解を伺う。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
5	[4 番] 齋藤 豊	3 町民会館周辺のケヤキ木について	<p>聖籠の杜と位置づけられ、植栽してから40年近くになる町民会館周辺の樹木が成木となり、四季を通じて潤いをあたえている。この周辺歩道に植栽されたケヤキ木が伐採された。そこで質問する。</p> <p>(1) 何故にこのように立派に成長した命あるケヤキ木を伐採したのか。</p> <p>(2) 町内には街路樹として、低木樹のツツジ、中木樹のハナミヅキ、高木樹のケヤキ等が植栽されている。樹種の選定についてはどのようにして行われているのか。</p>	町長
		4 公共用地の樹木管理について	<p>近年松くい虫被害が広がり、町の公共敷地内の松も被害が目立つ状況である。この町有地内の松の保存の考え方は。</p>	町長
6	[9 番] 青木 順	1 町政全般について	<p>(1) (仮称) 屋内遊び場整備は、令和8年度予算において8億1766万円(備品代は含まない)の予算が組まれたが、総額はいくらぐらいになるのか。また、次のような意見があったので検討してほしい。現在の予定は蓮野多目的運動場を改修して整備するようだが、プラント脇にある聖籠地場物産を改修して整備する考えはないか。メリットとしては、</p> <p>①現在の多目的運動場の利用者が困らない</p> <p>②改修費が今の計画より少額で済む</p> <p>③未利用スペースの利活用と地場物産との相乗効果が期待できる</p> <p>④駐車場整備も不要になるのではないか</p> <p>⑤買い物ついでに立ち寄れることでプラント4との相乗効果でwinwinの関係</p> <p>などがあり、デメリットがあまり見つからないと思うが、どう考えるか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
6	[9番] 青木 順	1 町政全般について	<p>(2) 聖籠町のふるさと納税制度について 2024 年度においては 17,200 件を超える件数と 4 億円を超える寄付額となっている。聖籠町の発展に欠かせない財源となっているが、今後寄付額増加に向け、検討はしているか。県外の方から「寄付したら一日町長体験があったらやってみたい」と意見があった。寄付額の増加、話題性も含め検討できないか。</p> <p>(3) 私立認定こども園 1,760 万円の支援金だが、令和 8 年度の支援で最終年度となる。支援する根拠が不明確なままだ。財政支援しないと保護者負担が増えるというが、保護者負担がいくらになるか明確にできないか。</p>	町長
		2 選挙について	<p>(1) 衆議院選挙が終わり、投票率は全国で約 56.26% (2024 年 53.85%) であったが、聖籠町の投票率は年齢層、期日前投票などどのような内容だったか。また今後投票率を上げるためにどのようなことを検討しているか。</p> <p>(2) 日本は先進国の中でも投票率が低めである。これらを踏まえ、多くの企業や自治体が投票率を上げるため様々な取り組みをしているが町として何か検討していることはあるか。</p> <p>(3) 今年の夏には町長選挙がある。県知事選挙や地方の首長選挙ではすでに名乗りを上げている方もいるが西脇町長は出馬予定か。</p>	町長 選挙管理 委員長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
7	[10番] 田中 智之	1 新しい子育てシステム導入により、町の幼児保育は、どう変わったか	<p>令和4年4月、町は三つの町立こども園を閉園し、新たに四つの私立認定こども園と一つの町立幼稚園を開園した。これを町は「新しい子育てシステム」と名付け、現在まで大きな問題はなく運営されているようだ。しかし町が当初、システム変更の理由としていた幾つかのメリットを、実際に町民および町が享受できているのかは不明だ。また、システム移行からまもなく4年経ち、現状把握と子どもたちの育ちの調査検証も必要な時期と考える。当初、システム変更の目的の柱は①待機児童を出さないため②0歳～5歳児の兄弟が一緒に園に通えるため③町の財政負担を減らすため（年間約7千万円の減）だった。それらを含めて質問する。</p> <p>(1) 町の待機児童の現状はどうなっているか。</p> <p>(2) 兄弟がいて同じ園に通園を希望する児童は、予定通り一緒に通えているか。</p> <p>(3) 町営を継続していた場合と比較して、システム変更により町の年間の財政負担はどれだけ減額されたか。また施設の建設費やウッドショック支援金等の町からの補助金・支援金を含め、それら投資の回収はできているか。</p> <p>(4) 私立認定こども園と町立幼稚園はそれぞれ特色のある教育をしているが、卒業した園によって、その後の子どもたちの学習面や運動面、情緒の発達等で違いはあるか。</p>	町長 教育長
		2 新潟東港の今後の展開をどのように描いているか	<p>新聞報道によると、県が本町を国のGX戦略地域に申請したということだ。イーレックスのバイオマス発電所計画が縮小されたばかりでもあり、町にとっては朗報である。ただ、脱炭素エネルギーを核とした新たな産業集積を目指すというのが具体的なイメージができる町民は限られているのではないか。また最近のニュース等ではデータセンター誘致という話題が多く見られる。そこで質問する。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
7	[10番] 田中 智之	2 新潟東港の今後の展開をどのように描いているか	<p>(1) GX戦略地域とはどういうものなのか。申請が通った場合、本町にとってのメリットとデメリットはどのようなものが考えられるか。</p> <p>(2) データセンター誘致では、28年3月に廃止される東北電力新潟火力発電所の跡地が注目されている。本町も立地条件は整っていると思うが、誘致する考えはないか。</p>	町長
8	[1番] 川上 りな	1 住民の利便性向上と、環境に優しい町づくりの両立について	<p>2020年（令和2年）から全国一斉にレジ袋の有料化がスタートし、私たちの生活の中に「マイバッグの持参」や「袋を有料で買う」という習慣が定着してきた。しかし、私が日々の買い物の中で感じているのは、レジで数円払って受け取る「あのポリ袋」に対する違和感である。せっかくお金を払って買った袋なのに、家に着けばごみをまとめるためだけに使い、結局はそれを丸ごと「町の指定ごみ袋」に入れ直して捨てなければならない。この「袋の二重消費」というムダを、今の時代放置しておくべきではないと考える。</p> <p>先進的な取り組みをしている自治体では、レジで「指定ごみ袋」を1枚単位で買える仕組みがすでに導入されており、「指定ごみ袋をそのままレジ袋として使う」という、当たり前でスマートな選択肢を、ぜひ我が町でも実装すべきだと考える。</p> <p>住民にとって利用しやすいサービス、そして本町の環境施策をよりアップデートさせるべく、以下の4点を伺う。</p> <p>(1) 本町では各世帯へ指定ごみ袋を配布しているが、一方で町内のスーパーやコンビニでも販売されており、必要に応じて住民が自ら追加購入できる体制となっている。この「配布とは別に、店舗での購入という選択肢が日常的に存在している現状」に対し、町は住民のニーズをどう把握しているか。現在の利用状況はどうか。</p>	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
8	[1番] 川上 りな	1 住民の利便性向上と、環境に優しい町づくりの両立について	<p>(2) 現在、指定ごみ袋の販売は10枚入り等だが、レジ横で1枚単位で販売するには、店舗側のオペレーション（在庫管理やレジ設定）の協力が不可欠である。現在のような「セット販売」だけでなく、買い物ついでに「1枚単位」でも手に入る仕組みがあれば、より住民のライフスタイルに寄り添った行政サービスになるのではないか。町として、町内のスーパーやコンビニエンスストア等と協議し、「レジ袋兼指定ごみ袋」としての運用を試験的に導入する考えはないか。</p> <p>(3) 指定ごみ袋には廃棄物処理手数料が含まれているため、通常のレジ袋（3円～5円程度）より高価になる。住民が納得して購入できるよう、例えば「レジ袋として販売する分」について、店舗側の手数料や事務負担を考慮した適切な価格設定を考えてはどうか。</p> <p>(4) この取り組みは、単なる利便性向上だけでなく、「ごみを減らす」「資源を無駄にしない」という町の姿勢を対外的にアピールする絶好の機会となると考える。 SDGs（持続可能な開発目標）の観点からも、循環型社会の構築に向けたシンボリックな施策として推進する意欲はあるか。</p>	町長
		2 業務効率化、地域活性化について	<p>選挙の際、投票したことを証明する「投票済証明書」。この証明書は公職選挙法で義務付けられたものではないが、今、全国の自治体でこの証明書を「単なる紙切れ」ではなく、「街を楽しく、政治を身近にするツール」として注目されている。特に若年層の投票率向上が課題となる中で、「投票に行こう」という呼びかけだけでなく、投票したことが誇らしくなり、さらには地域の商店街を応援したくなるような、そんな「一石二鳥」の仕掛けを本町でも検討すべきではないか。以下の3点を伺う。</p>	町長 選挙管理 委員長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁者
8	[1 番] 川上 りな	2 業務効率化、地域 活性化について	<p>(1) 直近3年間における国政選挙および地方選挙での「投票済証明書」の交付枚数、ならびに投票者数に対する交付率の推移はどうか。</p> <p>(2) 本町において、投票の際に希望者に交付される「投票済証明書」は、現在、その場で職員が住所や氏名を手書きで記入するという運用がなされている。投票所の事務負担が重い中で、なぜあえて「手書き」という非常に手間のかかるアナログな手法が維持されてきたのか、その経緯や理由を伺いたい。また、現在のように投票者が集中する時間帯がある中で、この運用が「事務の効率化」や「待ち時間の短縮」といった現代の行政課題と照らし合わせて、適切であると評価しているか見解は。</p> <p>(3) 投票済証明書を提示することで、町内の飲食店や商店で割引サービスを受けられる、いわゆる「センキョ割」という取り組みが全国で注目されている。町として、商工会や地元店舗と連携し、投票帰りに町を回遊してもらう仕組みを作ることで、投票率向上と地域経済の活性化を同時に狙う取り組みを本町でも行う考えはあるか。</p>	町長 選挙管理 委員長
9	[3 番] 栗原 博久	1 原発再稼働につい て	柏崎刈羽原発は紆余曲折して再稼働にこぎつけたが、万一の事故への不安は解消されていない。町長として今回の原発運転再開について県当局との関連でどのような態度を取られ、電力供給自治体の長として原発問題についての見解はあるか。	町長
		2 除雪対応について	今回の豪雪に対しての除雪作業に当たって問題点はあったか。	町長

一 般 質 問 通 告 書

質問 順位	[議席番号] 氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
9	[3 番] 栗原 博久	3 町道工事について	町道寺島・網代浜線について、寺島地内の道路改良工事で工事の進捗が遅いように散見されるが、どう対処されているか。また、通行止めについて案内も徹底しているか。	町長
		4 行政の進捗について	<p>(1) 平成11年地方分権一括法で自治体の住民サービス向上、事務手続の深化が求められたが、町として具体的にどう取り組んできたか。今後の課題は何があるか。</p> <p>(2) 新潟県内の全市町村の2024年度決算を見ると経常収支比率が過去最悪となっている。人件費の増加、原油高や物価高騰が影響しているが、当町の経常収支比率はどうか。今年度予算では経常収支比率はどうか。</p> <p>(3) 自治体の人手不足で行政業務に支障が出ている市町村があるが、特に地方分権を進める中で、職員数の不足、なかんずく技術職員の確保に支障が出ている市町村があるように伺っているが、当町ではどうか。</p>	町長
		5 大学進学への支援について	<p>大学進学率は当町ではその比率が低いと言われているが、その実数を把握しているか。高校授業料無償化は理を得ており保護者にとってありがたいことだ。問題は大学進学での負担感の解消を進めなくてはならない。物価高などで保護者、本人の学業に支障が出て、大学奨学金への依存がさらに高まっている。給付型奨学金には限度があり、貸与型奨学金での学業を行っている学生が多数だが、その返済期になると困窮する例が多い。町独自の奨学金制度の充実と大学を卒業して当町に戻って住民として就職される方への町独自の制度はできないか。</p>	町長 教育長